



建設情報誌

C-net通信

Vol.569

さが

『C-net通信』で 検索

2022年4月6日
(毎週水曜日発行)

<http://www.nsci.co.jp>

発行所：(株) NSC 佐賀市日の出1丁目 16-19

TEL 0952・97・9643 FAX 0952・97・9647

技術研修会を開催

環境と防災と維持管理技術 ミラクルソル協会

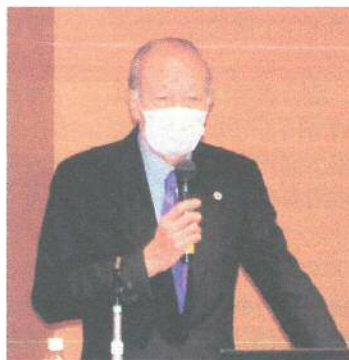
ミラクルソル協会（原裕理事長）は24日、唐津市の高齢者ふれあい会館りふれで2021年度（第29回）「環境と防災と維持管理技術」技術研修会を開催した。建設コンサルタント会社や建設会社、発注機関の技術者ら約100人が参加。環境に配慮した土木工法や防災に効果を発揮する工法、維持管理性に優れた技術について理解を深めた。

研修会は佐賀県ジオファイバー協会、佐賀県ニューレスプ協会、SSLアンカー協会、景観壁体研究会が共催。2部構成で行われた。

第1部では、原理事長が「地球温暖化と災害とグリーンインフラ」をテーマに講演を行った。地球温暖化の影響による猛暑や豪雨災害が多発している現状を説明し、ガラス廃材を再資源化したミラクルソルによる豪雨対策、環境負荷低減に最適な工法を提案した。

その一例として、吸水性が高く軽量のミラクルソルを盛土造成に用いるFWG盛土造成・排水工法、路面温度を約17度低下させヒートアイランド現象を抑制するFWG透保水性舗装工法を解説。原理事長は「見えないところにコストをかけることが安全・安心につながる」と述べ、防災面や環境面でも有効な工法だと強調した。

続いて日特建設(株)九州支店の山下一臣技術部長が、親杭とコンクリートパネルを一体化した親杭パネル壁工法を説明。他の補強土壁工法に比べ、掘削床掘り範囲を狭く抑え、工期が短いなどの優位性を示し、路肩が崩壊した道路の早期復旧に貢献できると話した。また、環境に優しく耐震性も高い法面保護工のジオファイバー工法、老朽化した吹付法面を壊さずに再生できるニューレスプ



原裕理事長



山下一臣技術部長

工法について最新の施工事例を紹介した。

第2部では、サンスイ・ナビコ(株)の和田亮氏らがグラウンドアンカー健全度の調査例、耐久性や維持管理性に優れた「SSL・Fixrグラウンドアンカー工法」を解説。岡三リビック(株)の細谷祐之リパイプ創新部長は、安全面の向上や作業効率の改善、脱炭素社会に貢献できる管更生工法として「J-TEX工法」「SWライナー工法」を説明した。

この日は、これらの工法に関するパネルディスカッションも行われた。

【3月30日HP掲載】